

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		構造がワンフロアであるため個室はないが、パーティション等を配置しながらプライバシー性をきちんと確保し集中して学べる空間を作っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			常時5人体制で、適切な資格を有した職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内はフラットな設計。玄関にもスロープあり。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			高坂教室・新形町教室の職員も参加し、より良い支援を行うための意見交換を欠かさず行っている。PDCAを有効活用する為の勉強会も実施。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		主に送迎の際、保護者と積極的にコミュニケーションをとり、お子様の近況を把握できるよう心掛けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果だけでなく、改善策や将来的なビジョンについても公開するよう努めている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	メグシィ全体としての評価をいただく機会はあるが、桜新町教室は2017年12月にオープンしたばかりなので、当教室個別の評価をきちんと検証し、業務改善に反映していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			会社として研修参加及び資格取得について手厚い支援を行い、職員の自発性を促している。
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々変化するニーズや課題にも柔軟に対応できるようヒアリングや観察結果を細部まで反映した計画策定を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールの使用により、障がいの程度や支援ニーズを明確にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			高坂教室・新形教室から適切な資格を持った職員が必要に応じて応援に駆け付けられる体制を敷き、効果的なプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々検証し、改善しながら固定化しないよう工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		オープンからまだ1年未満なので、年間通した運営の検証はできていないが、長期休暇中の支援については他教室に習い準備を進めていきたい。

提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別学習のほか小集団でのプレイセラピーも実施。状況に応じ適切に組み合わせた支援を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			業務開始時の朝礼、支援開始直前に何度も確認しながら抜け落ち等がないかチェックし合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りの際は必ず良かった点、反省点、次回までにどうすれば改善できるかをきちんと話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援後の習慣として、毎回記録を取ることを徹底している。その記録内容が検証・改善の材料となっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも毎月1度以上行い、見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			職員1人1人、きちんとガイドラインの根幹を理解できるよう努め、最良の支援ができるよう活用している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には、毎回2人以上の職員が参加し、個人の主観にとられない多角的な視点からの意見交換を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			面会のほか、電話やメール等さまざまな手段も使って学校側との連携を図るようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医の指示を細かく仰ぎながら、きちんと支援を進めている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			協力的な園が増えてきているので、情報共有や相互理解しやすくなってきている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ実績はないが、将来的に就労支援事業所を設置したいと考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			酒田市はなまし学園、鶴岡市障害者相談支援センターなどと定期的な意見交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	桜新町教室としては交流行事を予定していないが、高坂教室・新形町教室と合同で企画してみたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		研修会へは積極的に参加している。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			高坂教室・桜新町教室と合同で保護者懇談会等も企画。職員と保護者の関係だけでなく、保護者同士でも意見交換を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			各家庭のケースに応じ、何が適切か判断したうえで自宅のできる療育法を提供している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			パンフレット等で資料として目に見える形としてもきちんと説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			小さな問題が起こるたび、些細な悩みが出てくるたび気軽に相談してもらえる関係性を構築している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同士の情報交換会は企画しているが、父母会としての組織立てまで必要かは今後検討を重ねていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			間を空けることなく、迅速に適切に対処できるよう職員全体で徹底を図っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		日々の活動についてはきちんと発信できているが不定期であるため、定期的な発行を目指したい。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			外部へ流出しないよう厳重なマニュアル及び管理体制を敷いている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様には「分かるまで」、親御様には「理解していただけるまで」をモットーに、真心込めた意思疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	オープンして1年未満の施設のため、地域の皆様に我々の理念を理解していただけるよう働きかけを行っていきたい。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		利用者の度合いも組み取りながら、確実に実行できるマニュアルとして、今後さらなる見直しを図りながらブラッシュアップしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1度以上の訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			講習で研鑽を積み、知識の向上・意識の改革を図っている。

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		個人の主観だけに左右されないよう、客観性のあるPDCAサイクルを用い意思決定を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			近年、アレルギーのある子どもが増えてきているので診断書に基づき細心の注意を払い、きちんと対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成したヒヤリハット事例集をもとに、危険性のあるものはすぐに改善を図っている。